

発行日 平成9年8月10日
 発行者 江別市生涯学習推進協議会
 編集人 広報小委員会(太田佳美)
 連絡先 江別市教育委員会生涯学習担当
 <高砂町24・381-1062>

女性の視点 大切にしよう

好評・女性学入門講座終了

5月29日から6月19日まで、4回シリーズで「女性学入門講座」が開催されました。最近では、男女共同参画、男女共生などということばが盛んに使われ、社会的に活躍する女性も年を追うごとに増えていきます。そのような中、いまいちど「女性学」を正しく理解してもらおうと市教委が江別市婦人団体協議会と共催した講座ですが、主婦を中心に毎回四〇名余りが参加し、熱心に聴講しました。

初回の相内先生は、自身の留学体験から、日本とアメリカの女性に対する考え方の違いを指摘、「アメリカの職場

にはお茶くみの習慣はなく、そのような社会的規範として求められる「女性らしさ」は企業にとっても損失になる」として「もう一度女性の視点からいろいろなものを見つめることが必要。女性学は女がより良く生きるための学問である」と強調しました。



諸外国との違いを語る相原先生

自己決定力

また、他の先生も一貫してこれまで女性に背負わされてきた性役割に固執せず、女性が自分の意志で行動できる自己決定力を持つ社会づくりが

大切。それにより、本当の意味で男女がともに生きる社会ができる、と語り受講者の共感を集めていました。

テーマ及び講師は次のとおり。①「女性学って何？」北海道女子大学講師 相内真子

②「働く女性の現状と課題」札幌弁護士会 相原わかば氏、③「北の女の生き方」札幌女性史研究会 林恒子氏、④「女の歩み主婦の歩み」光塩学園女子短期大学教授 佐藤朝子氏。



会長 安宅嘉美

受講者は問題意識を強くしたようです。

この度、本年度の総会で伊藤前会長の後、会長という重要な役に選任され、とまどいをしているところであります。

就任のごあいさつ

この時あたり本会も三年目を迎え、設立の目的は市民の主体性に基づいた学習活動

を活性化し、本市における生涯学習の振興を図るため市民一人一人の生涯にわたる学習要求に応じた学習機会の提供など、必要な事業を行うこととあります。このことをもう一度しっかりと捉え、総会でご承認をいただきました各事業につきまして、役員の皆様方のご協議のうえ、教育委員会の指導をいただき取り進めていく所存でおります。

特に本年度の事業のうち「紅ライフトーク'97」の開催につきましては、意になかった事業でありますので、今後につきましても岩田醸造様と共々取り組んでいきたいと願っておりますので多くの市民のご参加を期待しております。

終わりに、皆様方のご協力のうえ、二年間精一杯努力をしていくことをお誓い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

日々楽しむ私の生涯学習



今井みね子さん

市民体育館の婦人健康教室に参加終了後、折角続けてきた運動をやめるのはとても残念なので、希望者だけで運動と親睦を目的としたサークルを発足しました。

スキー、ミニバレー、卓球、バドミントン、水泳、グリーンボールなど盛沢山な種目ですが、その間お互いの健康と運動を通してあまり上手でなかった種目も少しは上達し、楽しさと満足感を充実させていたできました。

楽しくスポーツ

どすっか
り忘れて
おやつを

発足当時は若かったこともあり苦にならなかつたのですが、わが身の加齢とともに若い会員と運動する上で色々ギャップもあり、生涯続けたいとの思いもあり新しいサークルをつくることにしました。平成七年、

豊かな心と健康な体力作り、年齢に見合った運動を進めていくことを目的として、名称をサークルハーモニーとしました。今のところあまりハードな運動ではないので、入会したい方は是非どうぞ。

種目は、卓球、ミニバレー、バドミントン、遠足、グリーンボールですが、大森西町公園のグリーンボールは好評です。草原でおにぎりを食べお茶を飲み、この時はダイエットなどすっか

いただき、話題もおしゃれの話、福祉問題と豊富で、仲良く助け合いながらの現在です。会員は平均年齢六〇才、週一回の活動ですが、それぞれが色々な趣味を沢山もっているので勉強にもなり、ほけるひまはありません。これからも私なりに頑張っていくと思います。
(サークルハーモニー会長)



バターつってこうしてつくるんだね。(市教委・夏休み親子ふれあい体験学習)

生涯現役学び合い

人は様々な局面で、その場面に応じた学習をする。学校ではもちろんのこと、職場に入ってもその職業に関わることを学習し続けていく。

ただ、人はその社会人としての学習をあまり意識しない。「自分がこの仕事に関わる上で必要なこと」と思って学習する。

学習を継続するには強い意志が大切である。お仕着せの学習では意欲が湧かない。中学

字に作る苦労と完成の喜びに自己満足を味わっており

健全な身体づくりが生涯学習の基礎となっていることを認識し、高齢者健康教室に参加して一〇年になり
ますが、八三才の最長老の方は数年前から参加されており、明るい元気さには会うたびに啓蒙されます。医学的な面からものと、国保の健康教室で各種疾患の講義を受け、中でも高血圧に



清水 滋也さん

私が現在生涯学習と意識し学んでいるものは、聚楽学園と高齢者健康教室、ほか趣味として俳画、七宝焼、ペン習

校で教員をしている私には、生徒の声が聞こえてくる。「勉強なんか嫌いだ!」「あーあ、数学と英語は嫌だな!」と、勉強を嫌いな生徒がいる。無理もない。自分が求めて学習しようとしたものではないからである。



佐藤 博志さん

学習を始めるにはきっかけがある。そのきっかけは人様々であるが、きっかけをつかんだ人は誰もが熱心に学習を継続する。

自分の日常生活の中で、

関する教室で得た知識は現在も継続し実践しており、心身とも健康に生活していきたいと念願しています。

スケジュールいっぱい

円卓会議での提言、道政モニター、北電

各分野で勉強しました。また昨年は老年の主張大会に応募し、入選者八名の中に入り、市民会館大ホールでの発表の

もっと知りたい、より深く追求したい、だから自分から求めていく。本来学習するとはこういうものである。学校とか職場だけが学習する場ではないし、また学習のきっかけを見つける場でもない。知りたい、学びたいと思った時が、学習を始める日である。私たちは生涯現役を合い言葉に、常に学び続けることが自分の人生をさらに豊かにすることもできる。

(江別レクリエーション協会会長)



ため練習に明け暮れ、発表の難しさを実感しました。その他、やきもの市では七宝同好会の仲間と共に売場に立つなど、講義を聞くだけではできない体験もしました。
今後とも広報等を見ながらスケジュールを埋めていくのが月初めの仕事となっております。行動範囲が広くとれるのは車の運転ができる間とばかり走り回っている毎日です。
(聚楽学園生)

北陽美術協会

東出正信(事務局長)

北陽会は、昭和四六年に絵画の輪を近隣市町村にも広げ、江別の文化向上と絵画の新人発掘を目指して三九名で発足し、江別在住会員は公民館の

絵画教室の指導、市民文化祭の絵画部門の実施団体として美術文化の普及向上のため事業活動を進めてきました。会の発足依頼、各公民館の絵画教室、サークル講師を担当し生涯学習の推進に参加しています。

当会は、絵画等の芸術の探求と会員相互の親睦を図ることを目的として事業活動を行っています。会員構成は全国全道規模の各種公募展の会員・会友・入選者から日曜画家の油絵・日本画・水彩・版画・切り絵・パステル画と

技術をこえた心のふれあい

じ生活の充実感を味わっています。このことは会の大きな特色であろうと思います。

本年度で発足から二六年を迎え、会員数も九八名となり現在の最高齢者は八九才、会員の七八%が六〇才以上となり

りました。

本年度の事業を紹介すると、①春の小品展、②春のスケッチ旅行、③裸婦デッサン会、④第二六回北陽会展、⑤第二三回北陽会歳末チャリティー色

紙小品展、⑥市立病院(やすらぎ広場)会員絵画常設展など、会員の自己研修の場となっています。

上江別東町11-6 東出さん 385-0482



笑顔いっぱい、スケッチ旅行

学びの輪新たにひろく

平成9年度推進協総会終わる

新役員紹介

協議会の新役員が以下のとおり決定しました。よろしくお祈りします。

会長	安宅 嘉美	(江別市青少年のための市民会議)
副会長	関根 正一	(江別市社会教育委員の会議)
理事	大原 恭子	(江別市婦人団体協議会)
〃	山田 義弘	(財)江別市スポーツ振興財団
〃	稲毛 明夫	(江別市自治会連絡協議会)
〃	後藤 英雄	(江別市民生委員連絡協議会)
〃	服部 実	(江別市体育協会)
〃	春日 基	(劇団「川」)
〃	藤井 實	(財)江別市シルバー人材センター
〃	飯田 哲雄	(江別市文化協会)
〃	浅井 幹夫	(浅井学園オープンカレッジ)
〃	篠崎 諧	(江別市食生活改善協議会)
〃	中井 悦子	(江別消費者協会)
〃	渡野 京子	(江別市赤十字奉仕団)
〃	洞野 博文	(財)江別青年会議所
〃	肥田 貞子	(江別市社会教育委員の会議)
〃	神矢 容子	(おはなしなあに)
〃	太田 佳美	(江別市民国際交流協会)
〃	近藤 信雄	(江別市社会福祉協議会)
〃	宇 宏	(江別市芸術赤十字奉仕団)

と抱負を述べると、出席者からは激励の大きな拍手が送られました。

協議会は、市民主体の生涯学習推進組織として設立され三年目を迎えます。今年も現代的課題を取り上げた講座やフェスティバルなど、市民組織ならではの事業を展開しますが、それら各事業の充実し各方面から大きな期待を寄せられているところです。

新会員の紹介

7月2日付けで次の2団体が入会しました。

旭昭流旭昭吟詠学院江別支部/代表 姫野ヒデさん/会員 30名

のっぽろネイチャーゲームの会/代表 石崎一記さん/会員 64名

紅ライフトーク'97 あの大地 あのどよめき ～おりおりの中国と私～

今年も、江別市生涯学習推進協議会、岩田醸造株などの共催で恒例の紅ライフトークを開催します。

8回目を数える今回は、テレビ・ラジオ番組のインタビューアとしても知られる元北海道新聞論説主



幹、創成川ルネサンス世話人の小三氏をお迎えします。

私たちの隣の国中国、しかし欧米志向の強い私たちの暮らしの中では、えてして忘れがちです。

かつて満州国立建国大学に学び、戦後いちやく鄧小平との会談を実現、その後も日中友好に尽力する講師が語る、おりおりの中国にご期待ください。入場無料。

◆8月21日(木) 10:30~12:00
◆江別市民会館大ホール
<申込・問合せ>
市教委生涯学習担当
381-1062



市民の手で学びのまちづくりをすすめます。

5月10日、市民会館において平成九年度の総会が開催されました。

会員の中から選出された代議員二六名が出席し、八年度事業及び収支決算報告、業務

及び会計監査報告、九年度事業計画、収支予算などについて審議し、いずれも原案のとおり決定しました。また、今年役員任期満了に伴って改選が行われましたが、前理事三名による選考委員会を設置し、慎重に協議した結果、新会長には安宅嘉美氏(江別市青少年のための市民会議)が選出され、他の役員も右の名簿のとおり決定しました。

新三役が「市民の学習要求にこたえ、いつでも、どこでも、だれでもが学びたいことを学べるまちづくりのため、力を合わせて努力したい」

私の宝物

バラと共に

洞野 和子

私が三笠の隣町美流渡から江別に嫁いでもう四一年になります。

私と共にこの家で歳月を重ねてきた、このバラが宝物といえるほどいとおしいものです。肥料をやると色合いの良い花を付けるものの、手を抜くと色合いがボケてしまう。日々の丹念な世話が葉や花に表れる、何よりも四〇年



心します。当時は食べるため、生活のための仕事に夫婦して精一杯で、草花などゆっくりに観賞することさえできない時代でした。家族みんなが家庭での役割を持ち、各々働

いているように思える中で、このバラは風雪に耐え例年よりも増して色合い良く咲いてくれました。自分を守る以外に他の者を傷つけることもなく、与えられた条件に順応し精一杯に花を咲かせ、子孫のために虫に蜜を与え手伝ってもらう。

自然の営みにほんの少し人的手伝いでかわりを持つ楽しさと嬉しさは、他の人達が忘れずにどこかに持ち続けている感情であると信じています。

近くも花を咲かせる、可愛らしいものです。思い返すと、開拓農家に嫁ぎ義弟から初めてプレゼントされた五センチ程のバラの苗が、よく今までと感

ていたようにも思えます。テレビ・新聞などで心中を痛める出来事が次々と伝えられる昨今、昔と違い社会全体が裕福になっていてはいる筈なのに人々の心がどことなく荒んで

子供達をはじめ孫達にもこの小さな生命の尊さと健気さ、又それを育むことを、忘れかけられている優しさ、喜びを教え伝えられたらと思います。(文京台在住)

会員の募集

江別市生涯学習推進協議会では、加入団体を募集中です。

市民主体の生涯学習推進組織として、今までにない市民ならではの学習会やイベントなどを実施していきます。趣旨にご賛同いただけるみなさまからのご連絡をお待ちいたします。

〈事務局〉市教委生涯学習担当
☎381-1062

メンバー募集

〈琴伝流大正琴江別恵翔会〉

大正琴を始めてみませんか！初心者、男女を問わず個人指導もします。演歌、ポピュラー、民謡、童謡など楽譜が読めなくても大丈夫。レッスンは毎週月曜、高砂会館で9～12時。鳥居恵美子先生。詳細は綾野さん(☎384-7278)まで。

〈大麻華道研究会〉

交友の輪を大切にうつつりゆく季節を花に感じながら、日常の雑事からしばし離れて、安らぎのひと時花と語りてみませんか。初めての方大歓迎。

活動は毎週水曜、午前、午後、夜の部。大麻公民館にて。詳細は中西さん(☎386-5509)まで。

食の話・五味五感五題

生涯学習講座を開講

9月17日
～10月15日

江別市生涯学習推進協議会では、今年も生涯学習講座を開講、受講者を募集しています。

◆テーマ及び講師(敬称略)
①「北国の食文化」北海道女子大学教授 羽田野六男/②「21世紀の食糧問題」北海道

生活改善協議会との共催により、STVでおなじみの星澤幸子先生(写真)ほか各方面の第一線で活躍中の講師を招き、様々な角度からちよっとまじめに、そして楽しく「食」について考えます。

◆テーマ及び講師(敬称略)
③「日本人の国民食」カレーの話/アイディア料理研究家 星澤幸子/④「世界のチーズ・チーズの世界」サッポロルネッサンスホテル総料理長 大滝末馬/⑤「健康な大地・健康な食物」酪農学園大学教授 松中照夫。

編集後記

前頁で紹介したとおり、新たに二つの団体が協議会に入ってくれました。これまで、二年間の活動が認められ、力がかしてやろうという方が増えたことは、大変うれしいことです。今後、より一層の会の充実のためご協力をお願いします。



市内学習ポイント⑥

江別国際センター

野幌駅南口から徒歩二分、昨年7月にオープンした市内の国際交流関係ボランティア団体の活動場所です。江別市国際交流推進協議会に加盟している二二団体が企画した行事や会議、サークル活動、勉強会等に利用されています。

外国からのお客様を囲んでのミニパーティーや外国の料理教室も盛んに行われ、なかでも外国人講師による市民対象の語学教室は毎回好評です。9月からは、シルバー向け



江別国際センター位置図

の英語教室、英語入門―初歩の初歩―も開かれます。若い人と一緒では…と迷っていたり、レベルが心配で…という熟年の方大歓迎です。国際センターで新しい出会いがあるかも知れませんよ。

〈所在地〉
東野幌本町7
☎381-1111
月～金/10時～16時